

小牧市民病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (承認番号)	当施設における未治療びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫 (DLBCL) 患者に対する R-CHOP 療法と pola-R-CHP 療法の使用成績 (241002)
当院の研究責任者 (所属)	綿本浩一 (血液内科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	POLARIX 試験において未治療 DLBCL に対する pola-R-CHP 療法は R-CHOP 療法と比べて PFS を有意に改善することが示された。これを受けて、2022 年 8 月に未治療の DLBCL に対して pola-R-CHP 療法が本邦でも使用可能となったが、治験における日本人患者は 44 例と、日本人における使用経験が限られている。そこで、実臨床での使用経験から得られる情報を蓄積し、pola-R-CHP 療法のより適切な使用方法を模索するため本研究を計画した。
調査データ該当期間	2022 年 1 月 1 日から 2024 年 8 月 31 日まで
研究の方法 (使用する試料等)	<p>●対象となる患者さん</p> <p>2022 年 1 月から 2024 年 1 月までの期間で当院において R-CHOP 療法もしくは pola-R-CHP 療法を施行された未治療の DLBCL 患者</p> <p>●利用する情報</p> <p>診療記録より以下の情報を収集する。</p> <p>診断時の臨床所見・検査所見</p> <p>年齢、性別、診断名、Performance status (ECOG)、臨床症状の有無、診断日、病理組織検査、骨髄検査、免疫形質 (フローサイトメトリーおよび免疫染色)、染色体検査所見 (G-Band)、遺伝子検査、血清 LDH, alb, CRP 値、診断時病変部位、等</p> <p>治療経過</p> <p>治療内容、治療開始日・終了日、治療効果および効果判定日、再発・増悪の有無、再発・増悪日、観察期間中の有害事象、等</p> <p>転帰</p> <p>PET-CT または CT による治療効果判定結果、生死、最終生存確認日 (死亡日)、最終生存確認日での寛解状態、死亡した場合は死因、等</p>
試料/情報の他の研究機関 への提供および提供方法	なし
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	愛知県小牧市常普請 1-20 小牧市民病院 電話：(0568) 76-4131 担当者：綿本浩一
備考	研究に同意しないこと、又は同意を撤回することによって不利益な取り扱いを受けることはありません。